

SIFA ニュース



NO. 95

2017年度 冬号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

内容

[案内]

○ホストファミリー ボランティア登録会&交流会

○わいわい春まつり

[報告]

○ブルキナファソナショナルデー イベント

○多文化地域交流フェスタ

○学習支援ボランティア養成講座

○コトバ・わたし・未来報告会

○在住外国人向け起業セミナー

ホストファミリー ボランティア登録会&交流会開催!

当協会では、友好都市アメリカオハイオ州 ベルフォンテン市からの派遣生を受け入れるだけでなく、市内の大学や他の国際交流団体からの依頼を受け、アジアの学生のホームステイにも協力しています。そこで、今夏のベルフォンテンからの学生の受け入れや留学生の受け入れ等に先立ち、ホストファミリーのボランティア登録会を行い、すでに活動しているボランティアの皆さんと、情報交換をしながら交流できる茶話会を実施します。

ホームステイをしてもらう際に気を付けること、提供する料理について、喜んでもらえた訪問先、ホストをして得たものなど実体験を元に、色々な意見を聞きながらみなさんから出たアイデアを共有します。

ベルフォンテン派遣生受け入れ希望の方、子供を留学させたいけどまだ小さいのでまずは受け入れをお考えの方、数日一緒に過ごすことで異文化理解したい方、英語で交流してみたい方など、ホストファミリーに興味のある方は、是非、この交流会にご参加下さい。

日時：2月17日(土) 10:00~11:45

場所：市役所別館第3 2階北会議室 (駐車場有り)

条件：英語で簡単なコミュニケーションの取れる方が家族にいること。

定員：12家族まで (1家族につき2名まで)

申込み：2月14日(水)まで

わいわい春まつり 当日ボランティアを募集します

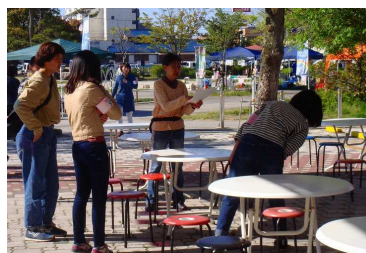
わいわい春まつりは、多くのボランティアのみなさんに支えられて開催できています。ボランティアの内容はいろいろあります。その一部をご紹介します。
※ボランティアの申し込み、お問い合わせは、SIFAへ



国旗の飾りつけ



のぼり旗や掲示物の取付け・設置



椅子やテーブルの設置



民族衣装を着て募金活動



コーナーごとに役割を分担



屋台のお手伝い



ゴミ分別のお手伝い



後片付け・撤収作業

ブルキナファソ ナショナルデー in 鈴鹿を開催しました

と き : 11月17日(金) 11時30分~15時

と ころ : 鈴鹿市文化会館

〈式典〉 18:30~19:30 けやきホール

ブルキナファソナショナルデーを記念して式典を行いました。

臨時代理大使のイネスさんをはじめとするブルキナファソ大使館関係者3名は、日中、鈴鹿市長の表敬訪問や合川小学校、鈴鹿サーキット、伝統産業会館などを訪れ、特に合川小学校では全校児童生徒にスクリーンでブルキナファソを紹介し交流しました。

イネスさんは、式典の挨拶の中で、伝統産業会館で伊勢型紙の話聞いて、自国の伝統工芸についても継承の難しさなど重なる部分があったと、お話しされていました。

式典会場でも映像で自国の紹介をし、ブルキナファソの名前の由来「正直で高潔な人」や農業や産業・動物の紹介をされました。

その後、三重アクターズスクールの子供たちによるライオンキングの観劇がありました。ここでは、白子高校吹奏楽部の生徒達も参加し、会場全体を盛り上げました。



〈国際理解料理講座〉

同日 11:30~15:00、調理室にてブルキナファソ料理講座を開催しました。

講師はサヌーさん。メニューは、鶏肉のピーナッツソース煮、モリンガを使った冷製パスタとスコーンを作りました。



モリンガの木



伝統的なモリンガ料理

料理講座の中では、ブルキナファソの文化紹介もして頂きました。学校や子どもたちの様子、産業、特に、ブルキナファソで栽培されている「モリンガ」の紹介もありました。モリンガの葉には、豊富な栄養素が含まれていて、特にモリンガ茶には、鉄分やカルシウム、ビタミン類、必須アミノ酸、ポリフェノール、ギャバなどが多く含まれていて、様々な薬効があるようです。特に、血圧や血糖値に作用するそうです。抗酸化作用やデトックス効果もある、体にとても良いスーパーフードですね。

〈パネル展〉

鈴鹿ハンターにて10月30日~11月4日、また11月17日に鈴鹿市文化会館 さつきプラザにて、パネル&写真展を開催しました。

JICA ボランティアが活動の合間に現場の目線で撮った写真から、ブルキナファソの生活が見てとれました。



多文化地域交流フェスタを開催しました

今秋、鈴鹿大学が主催した多文化地域交流フェスタに共催しました。

① 多言語・多文化教室（ブラジル・ペルー、中国、ベトナム、ネパール、韓国）

留学生たちがリレー形式で母国の紹介をしました。日本でもその国の人たちが集まって行うお祭りの紹介もあり、日本の中の外国人コミュニティを知るきっかけにもなりました。講座の終盤は、お茶やコーヒーなど現地の味を楽しみながら、講師の先生に質問しました。

② 世界の人と折るおりがみ

折り紙の先生から折り方を習った留学生たちが来場者と交流しながら教えました。着物や動く鶴の他、かごやコマなどいくつか組み合わせてつくる大作もあり、大好評でした。

③ 生け花体験

基礎を習ってから、素敵な花器に自由な発想で生けました。作品は、その後の地域交流パーティでお披露目しました。

④ 日本語スピーチコンテスト

9名が参加しました。国際交流協会賞は、家庭の都合で何度か引っ越す中で、友達との出会いが人生を大きく変えたことを発表した ハヤシ マツミさんに渡しました。

⑤ 外国につながる人の母語・継承語スピーチ発表会

12名が参加しました。観客賞に選ばれたアドリエリさんは、気持ちを込めた素晴らしいスピーチをされました。きっと、ほかの発表者の目標にもなったことと思います。

⑥ 多文化地域交流パーティ

①-⑤の行事の集大成としてそれぞれの事業を振り返りました。各国の料理もあり、珍しい料理に舌鼓を打ちながら交流できました。



学習支援ボランティア養成講座を開催しました



ワールドキッズの活動の様子

11月18日(土)、鈴鹿市役所別館第3の会議室で行いました。講師には、毎週土曜日牧田コミュニティセンターで外国籍の子どもたちの学習支援をしているワールドキッズの中林さんをお招きしました。

まず、協会より市内の外国籍児童の状況や学習でつまずきやすい所、支援活動で役に立つものなどを紹介しました。

中林さんからは、活動のやりがいや地域に根差した教室であることを、写真を見せながら紹介していただきました。

コトバ・わたし・未来報告会を開催しました

11月11日（土）ジェフリー鈴鹿ホールにて、コトバ・わたし・未来報告会を開催しました。

まず始めに、鈴鹿大学の舟橋先生から、コトバ・わたし・未来の目的と大学での位置づけについて教えていただきました。

この活動は、ワークショップと母語・継承語スピーチ発表会で構成されており、外国籍の若者のコミュニケーションカアップの機会を設けることを目的に実施されています。ワークショップでは、簡単なゲームをしてからポストイットに意見をたくさん書き、グループ内で共有していきます。また、参加者の一人のライフヒストリーをまと



めた動画を題材に話し合いをします。最初は全然知らない人たちが活動を通して心を開いていく姿を間近で見ると、このような場が必要とされ、続けていくことが大事だと認識されているとのことでした。また、母語・継承語スピーチ発表会は、まだ全国的にもあまり先例のない活動です。母語で発表は原稿をネイティブスピーカーに校正してもらい、自分の言葉を再認識することからアイデンティティの確立へとつなげようとしています。

報告会では、ワークショップで使われたライフヒストリー動画を見てから、学生にワークショップの前と後の気持ちの変化を語っていただきました。参加するまで時間はかかったけれど参加してみると、ほかの学生にもぜひ来てもらいたいと思ったという感想があり、この活動が参加者の心に響くものになっていると感じました。

SIFAでは、外国籍の子どもたちの学習支援、母語・継承語やアイデンティティの確立といった課題に来年以降も引き続き取り組んでいきます。

在住外国人向け起業セミナーを開催しました



11月26日ジェフリー鈴鹿ホールにて、在住外国人向け起業セミナーを在名古屋ペルー総領事館と共催で開催しました。

昨年たくさんのペルーの方が本セミナーに参加されたので、今回は、彼らの母国語であるスペイン語で行うことにしました。

講師は、日本全国でペルー料理講座の講師を務めているフジキテサさんと、桑名市でペルーからの輸入や卸業を営んでいるジュリアーノカスタネットさんでした。

フジキさんは、料理が好きでペルーへ度々帰国し専門学校に通ったり、友人のパーティに自分の作ったものを出したりして周りの人からすごく好評でした。お姉さんからレストランを開

いてみてはと勧められ、お店を持ったところ、ラテンのコミュニティに口コミで評判が伝わり、各地から声がかかるようになったそうです。

ジュリアーノさんは、友人と一緒にペルーの商品を輸入する会社（G&C Corporation）を始め、少しずつ取り扱う商品を増やしてきました。「安いもの＝売れるもの」ではなく、祖国での思い出に共感できるものを販売することが商売のリスクを減らす手法だと教えていただきました。

参加者からは、輸入に制限がかかっているものはどうしたら輸入できるようになるのかや新規の顧客開拓の方法について等の質問がありました。経営者の話を聞く機会はほとんどないので、セミナーが終了しても講師を囲み熱心に話している人が多く、参加者に響くセミナーになったと思います。

公益財団法人鈴鹿国際交流協会（SIFA）

〒513-0801 鈴鹿市神戸 1-17-5 別館第3

TEL : 059-383-0724 FAX : 059-383-0639 ✉ sifa@mecha.ne.jp URL : <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>